

公事方取捌大意

9

7保3
2.027
/



門牌
號 2027
卷 1



216

公事方九捌大急

蘇有子榮

列治
年
月
氏寄贈

一 離錄取捌之奉

目錄

卷之十 古詩 六首



陸文淵

一 嶺南既盡 以

四

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 嶺南, 既, 盡, 以, 四]

雜錄五例

- 一 父母者子孫或於極重之房子以了九石錢
- 一 父母或石極重之石血筋也者者可於極重
- 一 支死後家依外也於嫁夫先夫之名跡之福也
- 一 遺物之重家必受信命也而人跡割絶或
- 一 母妻之有也極重也也親類雖中如牌等
- 一 古果以者家必受命也而人跡割絶或
- 一 遺物之重也也極重也也親類雖中如牌等
- 一 長病之福一判一信命也而人跡割絶或
- 一 跡或重錢也也於也而人跡割絶或

近世家法也然其法亦極成之有合家體
七分如牌三分家法田租亦亦高牌之可
古體

- 一町方在子及子他人之相對之取一判之儀狀
不用又法之子儀也町人之取生之内致儀
書主位町年寄子相後下百姓之在年寄
相判之位相家留一若古法至之在年寄
書主位町年寄之事
- 一家如被養父死後之儀中在子之儀或相續儀
與人相果借金方之儀或親類之儀或
之儀借方之儀或分教之儀古例

- 一先任後任之遺言有之如非之出衆之儀任
在者非中之法或儀且法之儀或儀及
抄儀
- 一與人相果海式儀或儀或儀或儀或儀
於波海儀也儀或儀或儀或儀
- 一聲書子離縁之儀出生之男子之方上
川石川出木亦出之儀
- 一丈尺後家之儀子之儀或儀或儀或儀
如儀之儀或儀或儀或儀
- 一聲書子及子不和之儀或儀或儀或儀
不違之儀或儀或儀或儀或儀

一 實子出生後而和言在子亦出於母之元不得其子
出子之形門有

一 年送孫妻出子之氣入其子離母之元其子亦不及
載斷其母之元送其子之元亦送其子之元

一 出子位子無其由之妻亦位子位子位子位子位子
於母之持事者其對之權利不載其

一 自其持事者之子送其子之離母之元其子亦不及
其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之離母之元其子亦不及其子之元其子亦不及
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

一 其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元
其子之元其子亦不及其子之元其子亦不及其子之元

法通を以て事在田畑返不及夫之公認事たる也
一 押お果る身嫁と居る類は持余金之累及少少
法通之下也

一 先支離別之事候。不承座在候も之を親言は公
之を被女之申合理有座。然り有る重違科取す
違致

一 右母は離別有る自も之を違致之因を以て被
出たり。離別候も不承被代に申の用と致持被
判親言後後印上江守の候親言公認事不候。申
之は違致之為也

一 右母被下有持人の違科

一 如房も被公不致。及類も被。及違。不承。事。事。
親言公認事

一 如房被保。申相之。案出被。然。女親之上。法通之
可致也

一 在候不承。返。之。又。保。候。不。及。裁。許。

一 此。子。合。一。如。房。事。子。婚。小。被。案。出。比。且。厄。事。不。入。比。且。厄。
之。年。勤。一。照。出。申。官。定。又。京。方。引。取。古。例。

一 丈。と。婚。ひ。被。公。判。出。候。唯。取。取。取。如。房。申。又。之。
丈。申。中。裁。被。類。之。比。且。厄。事。候。切。之。古。例。

一 父。離。帳。申。上。九。分。離。申。若。子。引。取。候。之。久。離。
公。認。事。親。言。候。

一 欠唐の僧徒は其の勤苦を重んじて、印土の僧若
年一少少のくはりて

一 離別し事断ると信女親欠唐の僧人故を以て宿願
離縁の上同所を同高貴に致す書文を對し、其意

一 身當子孫とて遺せし
一 及尖法券は文致を以て其意を以て公儀に有る

一 漢文の中流を以て法券と致す此を以て其意を以て
其心元令を以て其意を以て其意を以て其意を以て
其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て

一 其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て
其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て
其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て

一 所老中 所司代 大坂市城代 若菜奉子 所側元
大目付 町奉行 所勘定奉行 出目付 大坂御醫

一 有持者、強身御儀代 遠國奉行
右家来侍士長恒申右致名屋 長谷市仕色成徳

一 其主人長恒申不及不侍以て又小恒者も位意要支
致し仕置置成りて其意を以て其意を以て其意を以て

一 右に通可相傳事
但意向は出役人より其意を以て其意を以て其意を以て

一 右に通可相傳事
但意向は出役人より其意を以て其意を以て其意を以て

一 但意向は出役人より其意を以て其意を以て其意を以て
其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て其意を以て

此地... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

此... 年... 入

山崎町秣場安子田... 書付古本帳
且古中代... 書付或地取割... 書付
中四路... 書付又... 地所... 取用
穿院後... 書付... 取用市所人

取替出入... 書付... 取用

書付古書... 書付... 取用
西且及... 書付... 取用

取用... 書付... 取用

他... 書付... 取用

或... 書付... 取用

德... 書付... 取用

德... 書付... 取用

馬次... 書付... 取用

人馬... 書付... 取用

德... 書付... 取用

德... 書付... 取用

高火者黃溪河為初也... 禁...
一 高火者黃溪河為初也... 禁...
一 雙方之權... 禁...
一 很適... 禁...
一 性運... 禁...
一 大... 禁...
一 中... 禁...
一 私... 禁...
一 市... 禁...
一 河... 禁...
禁...

寺社... 禁...
一 寺社... 禁...
一 律... 禁...
一 其... 禁...
一 云... 禁...
一 且... 禁...
一 公... 禁...
一 又... 禁...
一 行... 禁...
一 離... 禁...

有海法

- 羅思... 俄人... 形取... 不... 修... 八...
- 女子... 家... 成... 例... 女子... 文... 家... 成... 例...
- 任職... 或... 中... 之... 元... 家... 有... 地... 文... 官... 形... 之... 是... 謂... 之...
- 本... 附... 之... 形... 之... 以... 地... 文... 為... 名... 出... 年...
- 米... 其... 提... 取... 之... 形... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 用... 基... 且... 形... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 後... 便... 俄... 軍... 委... 且... 形... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 馬... 津... 軍... 數... 之... 家... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 形... 有... 地... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...

- 一 身... 法... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 船... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 乘... 舟... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 米... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 奇... 院... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 晏... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 在... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 免... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 處... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...
- 一 裁... 之... 官... 有... 地... 文... 官... 形... 取... 之... 形...

中道致

臣等

奏明

刑部

一 裁併

申送

田租

一 指年

及至

是

奏

一 奏保

元

均

類

一 奏保元甲年

均

裁併

田租

奏

一 奏保元甲年

均

裁併

田租

奏

一 奏保元甲年

均

料、百此、新原、又古、人、新、

出他入他

- 一 右、地、村、出他、田、比、事、他、入
- 一 谷、田、小、他、小、他、人、
- 一 移、林、
- 一 出、他、地、
- 一 越、石、
- 一 か、

小他

- 一 右、田、地、
- 一 地、
- 一 切、
- 一 遺、

永小他

- 一 右、先、祖、
- 一 定、
- 一 後、
- 一 此、

一 貸金日限中付在如或或延行一敷の内
於此等切金為限令至終一其内古例
養子之借金養父之委託被之能定と云養子実又亦
相傳也之方及如古例

一 先任借金有之限内便不存年手觸及も不存
入院之返便不及延限之便其子に他人に為限古例
借金に書入令高利率の如く一別本に利息を所
中付に與書中付に之も不存一之取と

一 町人百姓借金中付方借金に支取らるる海に付切
取切金為金取之仕被取付るも病を被又海
中付に限中付に其方日限に及ぐ切金中付に

一 借金他人に利人故不之為人に利あるを海方中付
年事人相對之事に海方中付に其方借金に利
家賃利令二三月海方中付に其方借金に利
方中付に

一 借金に於て借金被取之被り或之借金料中付
借金に記重し借金中付に其方借金に利
日記附帳に目大野に其方中付に其方借金に利

一 借金に於て借金に其方中付に其方借金に利
日記附帳に記し其方中付に其方借金に利
一 借高に帳面を村に宿又其方中付に其方借金に利
借金に

一 凡人欠店所欠之人... 一 取迎引... 一 迎者... 一 人取... 一 宿法... 一 若市... 一 其... 一 店... 一 元... 一 且... 一 不...

一 凡人欠店所欠之人... 一 取迎引... 一 迎者... 一 人取... 一 宿法... 一 若市... 一 其... 一 店... 一 元... 一 且... 一 不...

一 凡人欠店所欠之人... 一 取迎引... 一 迎者... 一 人取... 一 宿法... 一 若市... 一 其... 一 店... 一 元... 一 且... 一 不...

一 凡人欠店所欠之人... 一 取迎引... 一 迎者... 一 人取... 一 宿法... 一 若市... 一 其... 一 店... 一 元... 一 且... 一 不...

- 元々別禁と後致しつゝも希方お止むるゝ之科但
- 人教盗械未お止しつゝもつゝいひと軍事死格別
- 其科之いゝも付儀之儀致と格別を云々
- 月安表別儀の由中々々案有白知表成方之不松
- 詠人入主法人之心若別事人取抱り若々々
- 押縁組之事致中案有ハ中人百指大子頭
- 遊致之儀と名存出後之此致居至も不拂
- 此後及之案旨と保助ノ由案取之ハ之格式ハ遊致不拂
- 政宗ノ名ハ初登朝之致先仕取不將ノ若々々之科
- 御成先おわく之節ハ由海致居之ハ不拂
- 出家那人ハ海致様多ノ非人從

之儀亦在在不存類其以觸以ホト其之海法之由可
 致者中渡

- 火教之儀内他之海由進不辨お若ハ不拂名も後致居之
- 大組内因以門他之華ハ中院ハ関門
- 手負人との致不辨出之ハ人組ハ之科名も之ハ之
- 用之致免りも名も若々々月代と判致出ハ又関門
- 使之由之ハ不智信人ハ質由致居之ハ之科
- 割利ノ持系不致之質由致居之ハ利没 之儀有之
- 商介ノ事ハ他又致之令之借令代ノ建家未之其年亦
- 取壞おわくハ之是致造死為之
- 高貴伸ケるハ致有法ハ之違科

一 湯湯上尖考抄擲於波之年代限(百)不可辨

一 之料中付分共お果伴於之(六)人組為出(一)お果(一)而於
之引(一)若(一)押也

一 新機系仕出材(一)於運出(一)改(一)元(一)之付(一)之(一)組(一)改(一)改
古例

一 一(一)到(一)返(一)の(一)波(一)の(一)通(一)重(一)及(一)於(一)及(一)出(一)得(一)の(一)高(一)立(一)及(一)候(一)而(一)之(一)方(一)候(一)
同例

一 佛(一)通(一)分(一)子(一)不(一)得(一)候(一)方(一)一(一)舟(一)家(一)業(一)様(一)候(一)分(一)子(一)也(一)

一 重(一)事(一)月(一)信(一)中(一)觸(一)の(一)敷(一)の(一)家(一)候(一)而(一)一(一)戸(一)拂(一)の(一)事(一)也(一)也(一)
一 信(一)者(一)候(一)之(一)乃(一)好(一)候(一)人(一)之(一)也(一)若(一)ハ(一)也(一)致(一)

一 彼(一)文(一)知(一)人(一)為(一)候(一)記(一)一(一)不(一)可(一)候(一)之(一)押(一)若(一)手(一)也(一)也(一)致(一)

一 澄(一)又(一)死(一)不(一)切(一)書(一)留(一)候(一)信(一)合(一)乃(一)也(一)也(一)取(一)之(一)

一 尖(一)上(一)の(一)海(一)の(一)端(一)有(一)之(一)入(一)方(一)候(一)方(一)候(一)如(一)右(一)方(一)候(一)之(一)也(一)

一 之(一)他(一)候(一)候(一)と(一)致(一)候(一)候(一)到(一)方(一)候(一)と(一)以(一)候(一)出(一)の(一)若(一)也(一)致(一)也(一)對(一)其(一)也(一)
一 若(一)以(一)不(一)候(一)致(一)候(一)也(一)之(一)也(一)致(一)候(一)候(一)人(一)也(一)對(一)之(一)不(一)可(一)候(一)也(一)

一 之(一)道(一)料(一)
一 也(一)之(一)也(一)之(一)也(一)異(一)候(一)是(一)候(一)中(一)觸(一)其(一)若(一)と(一)捕(一)り(一)て(一)若(一)候(一)也(一)
仕(一)至(一)中(一)對(一)也(一)

一 也(一)候(一)極(一)其(一)庭(一)座(一)坐(一)也(一)印(一)也(一)道(一)身(一)積(一)上(一)事(一)候(一)也(一)

一 破(一)船(一)付(一)取(一)揚(一)候(一)也(一)之(一)也(一)信(一)者(一)候(一)也(一)之(一)也(一)一(一)沉(一)候(一)也(一)之(一)也(一)一(一)
一 但(一)川(一)候(一)信(一)者(一)候(一)也(一)之(一)也(一)一(一)沉(一)候(一)也(一)之(一)也(一)一(一)取(一)揚(一)候(一)也(一)之(一)也(一)

此係前日所為也今一月方古利令之以代後之向後
其後也其言人政七年二月水編之

- 一 水川港門也紅尾小船亦常出賣信也
- 一 人教之市主料有之欠房共在之若親叙又也房俸也
- 一 抵若之年令中付金之市之親叙之所也名之入人樂
- 一 弟中月日切之概之十式之十日限之百日限之乃中付
- 一 他也生之得下中の中九之也
- 一 科之速電欠房被其乃中付後自今亦亦來
- 一 親之市見之市也由又之謂之乃後也中付定法也
- 一 得之市不出也之房是那後進之市一件之定進之市之採

若し那後也六月と限於而得ハ乃若之科
しつ若高ハ得ハ付欠房ハ之也一法亦古浦其來也
之也非ハ之也一得也ハ之也又之也其法亦其件
若ハ房之也ハ之也

- 一 古浦也其也之也科人ハ同類ハ之也其若ハ之也其任所也
- 一 限ハ之也之也ハ之也其法亦其法也
- 一 喧嘩也其也ハ之也人教ハ同類ハ之也其若ハ之也其任所也
- 一 或ハ之也之也ハ之也
- 一 其也ハ之也其也ハ之也其法亦其法也其也ハ之也其任所也
- 一 其也ハ之也其也ハ之也其法亦其法也其也ハ之也其任所也
- 一 其也ハ之也其也ハ之也其法亦其法也其也ハ之也其任所也
- 一 其也ハ之也其也ハ之也其法亦其法也其也ハ之也其任所也

一 百姓町人の論に「お寺理不登」は「此の寺に得上り奉り相寺
世教の村お寺方」に「親教」を「不登」を奉り奉り右に「此の寺」
奉り不登者の中分して「お寺」人由先「此の寺」中不登
之給に「お寺」人及「此の寺」世教奉り奉り人「此の寺」人教々々
由「此の寺」不先

一 重き「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
町方の「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 改易中「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
之「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 田畑有る「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
斗「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 史料有る「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
成「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
妻「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 字「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
者「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 平日「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
押「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 火火「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
十「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

一 町人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人
一「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人「此の寺」世教奉り人

後出山家入知り申切及比石之礼之事云々
所人百姓科云々大之云々
姓云々

一 立教社教之科人云々
一 既而之事改悪事云々
一 得大印之悪事云々
一 罪科若右云々

一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々

一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々

一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々

一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々
一 悪事云々

一 百姓に事致さば通ずる人切敷之る百姓
此合さるは取身之古例

一 十人より法に及中村の一人の罪を乞ふ
致さしむるは取之兼忍しは刑に及致害は為
或の追致

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 射物又之為致と致中知死罪
此致人博愛之致は控由と小辨初西休未別也
を偽或死罪

一 町人大小と稱するは刑致仕は引致し之獄門
一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

一 取らるる罪に及從より別れに之實し其法に及致は
引致し死罪古例

朔日 音八日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日

十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

但右同

二月

朔日 八日 十日 十二日 十四日 十六日 十八日

十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日

晦日

但右同

六月

朔日 七日 八日 十日 十二日 十四日 十六日 十八日

十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日

但右同

六月

朔日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日

十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日

廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 晦日

但右同

七月

朔日 七日 八日 十日 十二日 十三日 十四日

十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日

在國

八月

朔日 八日 十日 十二日 十四日 十六日 十七日

十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 廿三日

在國

九月

朔日 七日 八日 九月 十日 十一日 十二日 十三日

十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

廿一日 廿二日

在國

十月

朔日 二日 三日 八日 十日 十二日 十三日

十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

廿一日

在國

十月

一 匪人市中

獲多淨在島之令匪人此日在國

一 匪人市中

獲多淨在島之令匪人此日在國

一 匪人市中

獲多淨在島之令匪人此日在國

但至到匪人之到據多此仕意中甘在中華

實 匪人市中

安對馬守殿市海軍中書寫

至至自行丸

大目付中

覺

疑京元子來以來之令彼出其以而百有餘年
因之實年相違者以來已六十年來述之令彼出

數多成以元來人之相對之信實之為百有
幾許不及事之當是述之介裁許之亦中身

自今出海之分味之述之亦中身亦實據其結
藏人作料之當任其心述日以之事

世各之而揚裁許日限亦中身亦實據其結
其行亦之而揚裁許日限亦中身亦實據其結

一 令彼借債之效八年古事候之其意之實之述之
其意之實之述之其意之實之述之其意之實之述之
其意之實之述之其意之實之述之其意之實之述之

口取出爲何方... 切合常... 名少... 其人... 心... 令... 出... 非... 少... 以上

二十月

傳...

以切... 由... 海... 疾... 其... 傳... 亦... 若... 或... 情...

石上通... 山道... 田家... 山...

七月七日

曲... 根岸... 小田... 池田... 青山... 板倉... 服坂... 杉平...

大村...

石上... 七月... 山道... 田家...

涉橋場所書付振合

上... 紙... 涉橋場所書付

涉村紙守切

中道致

涉橋場所

山...

山城

福傳

和泉

大和

河津

北条 東海道筋 木曾海道筋 中野
日光通中 甲斐 碓氷 佐渡
右ノ通切示能細々ノノノノ也

年月日

町人百姓重中恒進致

一 江戸指堂心方在後居ノ因急事仕出テ至テ接シ
重進致致所 田相栄在致栄致在取テ
中進致致所 田相栄在致取テ
恒進致致所 田相栄在取テ
但田相栄在致取テ者ノ栄致取テ田相栄在取テ

栄致取テ者恒重ノ不及抄取事
進致中接切所書有ノ例

進致
江戸指堂心方

但日知指方心方上堂宛

恒進ノ因 忠事人取テ取テ

右ノ通切所能細々ノノノノ也

年月日

一 江戸指 赤川 中住 与重指ノ 柘栲 与重指
但江戸ノ者ノ居切テ接切所ノ御免利致取

是二古押返(初)

宝曆七年信宗天皇御代
市所小左馬神(成)一件
知信(小左馬)之御代
是二古押返(初)

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

